

懇談会開催日:令和6年10月4日(金)

地区:浜郷

要望・意見内容	市長回答
<p>浜郷地区の避難は、いせトピアを中心としている。他の地区からいせトピアに集まってくる収容人員を超えてくると思うが、雑踏整理や収容できない人の対応をどのように考えていったらいいのか。</p>	<p>避難者が最大規模の時は、この地域では県立高校へ要請していく。緊急的な避難と中長期的な避難があるので、タイムラインに合わせた避難状況を考えて、場合によっては移動してもらうこともある。ホテル関係も活用していくべきと考えている。要援護者の避難が一番大きな課題である。ハード面の整備を進めつつ、支援者や皆さんと相談していくことになると思うので、テーブルに乗せ協議を進めていきたい。勢田川、桧尻川の排水機能のアップも進めているが、黒瀬まで効果があるかは確認したい。今後の宿題として預からせていただく。</p>
<p>一色町では、津波や洪水の時、防潮扉があり、閉めに行く必要がある。しかし、防潮扉が非常に重く、1人や2人では難しい。できれば遠隔操作できるようにしてもらおうか、幅8mの防潮扉を短くしてもらいたい。市から伊勢建設事務所に要望を上げてもらっているが、難しいといわれている。しかし命に関わることのため、何とかお願いしたい。</p>	<p>防潮扉の自動開閉については、財源確保が課題と聞いている。地元と県が扉の幅を狭くしていいというのであれば、可能性はある。なお、排水ポンプについては、少しずつ予算を付けて遠隔化を進めている。</p>
<p>通町の排水機場について、今年改修をしてもらっているが、昔ながらの規模で能力をアップして欲しいと市・県へお願いしたが、聞き入れてもらえない。台風21号の時には、ポンプを動かしても水位が上がってくる一方であり、通インターから二見に抜ける国道42号が冠水した。鹿海町の団地の水も来る。鹿海町から一色町を通っている用水路も溢れる。警報の10時間前から動かしているが、水位は下がらず上がる状態であった。しっかり対策を考えて欲しい。</p>	<p>市の全体の浸水対策としては、平成29年の台風21号で約2,000の住居が床上床下浸水が発生したため、原因を究明し対策を進めている状況である。多くは勢田川へ流れていく桧尻川、桧尻川に流れていく小さい側溝が溢れかえったことによるものである。県と国で勢田川を掘りポンプの設置を優先して進めている。排水ポンプについては、市内に約100機の排水ポンプがあり、多くは昭和49年以降から設置したものであるため、古いものを使ってもらっていて申し訳ないが、人家に被害を受けたところから優先順位を付けて交換している。現場を職員が確認をさせていただいて、どういう順番で行けるか、水の流れも含め考えていきたい。</p>
<p>ポンプ場を強化してもらったが、水の量が多いため無理がある。水門を閉めて水位を下げてもらうのが効果的である。水路が小さすぎて全体に無理がある。工事はいろいろ行ってもらっているので実情だけ知ってもらいたい。</p>	<p>(意見として聞き置き)</p>
<p>・通学路に街灯を増やして欲しい。メイン道路は明るい、外れた道は真っ暗である。防犯上もあるが、最近凶悪な強盗事件も起こっているため増やしてもらいたいが、規定で増やせないのか、要望を出したら増やしてもらえるのか聞きたい。</p> <p>・浜郷まち協ではタウンウォッチングを行い、子どもの安全確保の取り組みを行っている。危険箇所等に設置要望を出しているが、問題点として、要望から着工まで時間がかかる。子供たちは毎日登下校している。命に関わることであるため、要望から着工まで短くならないか。迅速にできる仕組みを構築して欲しい。</p>	<p>街灯には、防犯灯と道路灯の2種類ある。道路灯は行政がメインで設置している。一般的な防犯灯については、自治会で設置してもらい、市が一部補助を出している。自治会とPTAで協議してもらい、その後補助金を市が出す仕組みとなっている。防犯カメラの設置も補助を出しているので活用いただければありがたい。</p>

要望・意見内容	市長回答
<p>地域の担い手不足が一番大きな課題である。併せて地域を支えてきた農業者の高齢化と人口減少により耕作地が荒れてきた。地域の活性化を進めて行くためにはどうしたらいいのか。場所・時間・楽しみなどを提供できる何かが必要であり、地域で話し合う機会も必要だが、行政として話し合える場、議論できる場があって欲しい。</p>	<p>子育て支援などを進めているが、少子化の歯止めにはつながっていないという現実を突き詰められている。伊勢の観光産業で若い人に働いてもらえる環境にしていくことが大切。この1～2年は高校生や大学生から直接話を聞く機会を設けている。子どもたちが楽しいと思えることに立ち返りたい。自分らだけで考えていくのではなく、コラボレーションしていくことも必要。皇學館大学のCLL事業も進めており、ヒントをもらいコミュニティを作っていくのも必要。議論の場を作って行きたい。</p>
<p>おはらい町は賑わっているが、新道商店街の静けさをどのように考えているのか。</p>	<p>外宮から伊勢市駅間の活気が戻るのに20年かかった。今進めているのは旧三交百貨店の通りを進めている。新道商店街はその後になると思うが、課題を一つひとつ解決しながら進めていく必要がある。</p>